



アセットページ情報

Data Infrastructure Insights

NetApp
August 19, 2025

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/data-infrastructure-insights/concept_asset_page_overview.html on August 19, 2025. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

アセットページ情報	1
アセットページの概要	1
[Summary]セクション	1
[パフォーマンス]セクション	1
[Additional Resources]セクション	2
カスタムウィジェットを追加します	3
アセットページのタイプ	3
表示データの時間範囲を変更する	3
パフォーマンス指標の定義	4
コンテキスト内のオブジェクトのフィルタリング	6
ストレージ仮想化	8
資産とアラートを検索するためのヒントとヒント	10
インデックスキーワードを使用して検索します	11

アセットページ情報

アセットページの概要

アセットランディングページには、アセットの現在のステータスの概要が表示され、アセットと関連するアセットに関する追加情報へのリンクが表示されます。

ランディングページには、オブジェクトの概要、パフォーマンス、関連リソースの情報が1ページに表示されます。

The screenshot shows the Asset Landing Page for an object named 'bahamas'. The top section displays storage details: iops.total: 418,6410/s, latency.total: 0.02 ms, throughput.total: 0.13 MiB/s, capacity.used: 2,619.7 GiB, and capacity.total: 29,101.2 GiB. Below this are sections for Attributes, User Data, and Monitors. The User Data section includes a table with columns for Refresh_Cycle, Report, Refresh_Cycle, Business_Entity, BusinessUnit, Color, and Data_Center. The Monitors section shows 0 Alerting Monitors. The Performance section contains two charts: 'latency.total (ms)' and 'iops.total (IO/s)', both showing data from 6:30 AM to 9:00 AM. The right side of the page is titled 'Additional Resources' and lists Storage Nodes (2) and Storage Pools (4). The Storage Node table shows bahamas-02 and bahamas-01 with utilization, latency, iops, and throughput metrics. The Storage Pool table shows bahamas-02:agg0, bahamas-02:agg1, bahamas-02:baham..., and bahamas-02:baham... with capacity, utilization, and iops metrics. Below these are links for Volumes (65), Internal Volumes (142), Storage Virtual Machines (28), Connected Switch Ports (2), and Zones (6).

[Summary]セクション

ランディングページの上部には展開可能な[Summary]セクションがあります。このセクションには、スループットやレイテンシなどの最新のデータのトレンド、オブジェクトの情報と属性、およびオブジェクトに関するアラートが発生している可能性のあるモニタが表示されます。

[Summary]セクションには、アセットに割り当てられているアノテーションも表示され、変更できます。

[パフォーマンス]セクション

[パフォーマンス]セクションには、オブジェクトのパフォーマンスデータが表示されます。[Settings]を選択して、スループットや容量などのグラフを表示に追加するか、関連するリソースまたは関連するリソースを選択してオブジェクトのデータの横にグラフを表示します。競合を引き起こしている可能性のあるデバイスも、[パフォーマンス]セクションに表示されます。グラフのデータは、データコレクタがポーリングを行い、更新されたデータが取得されると自動的に更新されます。

選択した期間のパフォーマンスチャートに表示するを選択できます指標。[Settings]ドロップダウンをクリックし、表示された指標から選択します。

パフォーマンスデータに加えて、選択したページ時間範囲内でアクティブまたはアクティブだったアラートも表示されます。



[Performance]セクションに表示される次のデバイスから選択できます。

- ・関連性が高い

1つ以上のパフォーマンス指標との関連性が高いアセット（割合）がベースアセットに表示されます。

- ・上位貢献者

ベースアセットへの影響が大きいアセットが表示されます。

- ・主な変更点

最近の変更に関連するアセット。

- ・ワークロードの競合

ホスト、ネットワーク、ストレージなど、他の共有リソースに影響を及ぼすアセットと影響を受けるアセットが表示されます。このようなリソースを_greeding_/degraded_resourcesと呼ぶこともあります。

[Additional Resources]セクション

[追加リソース (Additional Resources)]セクションには、現在のオブジェクトタイプに関連するリソースのデータテーブルが表示されます。特定のリソースに焦点を当てるために、これらのテーブルを展開または折りたたむことができます。歯車アイコンを選択すると、追加の指標や属性が一時的に表に表示されます。

カスタムウィジェットを追加します

任意のアセットページに独自のウィジェットを追加できます。追加したウィジェットは、そのタイプのすべてのオブジェクトのアセットページに表示されます。たとえば、ストレージアセットページにカスタムウィジェットを追加すると、そのウィジェットがすべてのストレージアセットのアセットページに表示されます。

カスタムウィジェットは、ランディングページの下部の[Performance]セクションと[Resource]セクションの下に配置されます。

アセットページのタイプ

Data Infrastructure Insightsには、次のアセットのアセットページが用意されています。

- ・仮想マシン
- ・Storage Virtual Machine (SVM)
- ・ボリューム
- ・内部ボリューム
- ・ホスト（ハイパーバイザーを含む）
- ・ストレージプール
- ・ストレージ
- ・データストア
- ・アプリケーション
- ・ストレージノード
- ・qtree
- ・ディスク
- ・VMDK
- ・ポート
- ・スイッチ
- ・ファブリック
- ・ホスト
- ・ゾーン

表示データの時間範囲を変更する

デフォルトでは、アセットページに過去3時間のデータが表示されますが、アセットの種類に関係なく、すべてのアセットページに表示されるオプションを使用してデータの表示時間セグメントを変更することができます。時間範囲を変更するには、トップバーに表示されている時間範囲をクリックし、次の時間セグメントから選択します。

- ・最後の15分
- ・最後の30分
- ・最後の60分

- ・過去 2 時間
- ・過去 3 時間（デフォルト）
- ・過去 6 時間
- ・過去 12 時間
- ・過去 24 時間
- ・過去2日間
- ・過去3日間
- ・過去7日間
- ・過去14日間
- ・過去30日間
- ・カスタムの期間

カスタム期間では、最大 31 日間連続で選択できます。この範囲に開始時間と終了時間を設定することもできます。デフォルトの開始時間は選択した最初の日の午前12時00分で、デフォルトの終了時間は選択した最終日の午後11時59分です。適用をクリックすると、カスタムの期間がアセットページに適用されます。

選択した期間に基づいて、ページの情報が自動的に更新されます。現在のリフレッシュレートは、[Summary] セクションの右上隅、およびページ上の関連するテーブルまたはウィジェットに表示されます。

パフォーマンス指標の定義

[Performance] セクションには、アセットに対して選択した期間に基づいて複数の指標を表示できます。各指標は独自のパフォーマンスチャートに表示されます。表示するデータに応じて、指標と関連するアセットをグラフから追加または削除できます。選択できる指標はアセットタイプによって異なります。

* メートル法 *	* 概要 *
BB クレジットのゼロ受信、転送	サンプリング期間中に受信 / 送信のバッファ間クレジット数がゼロになった回数。この指標は、接続されたポートで提供できるクレジットを使い果たしたために転送が中止された回数を表します。
BB クレジットのゼロ期間の転送	サンプリング期間中に送信 BB クレジットがゼロになっていた時間（ミリ秒）。
キャッシュヒット率（合計、読み取り、書き込み）	キャッシュにヒットする要求の割合。ボリュームへのアクセス数に対するヒット数の割合が高いほど、パフォーマンスが高くなります。この列は、キャッシュヒット情報を収集しないストレージアレイについては空になります。
キャッシュ使用率（合計）	キャッシュにヒットするキャッシュ要求の合計割合
クラス 3 は破棄されます	ファイバチャネルのクラス 3 データ転送が破棄された回数。
CPU 利用率（合計）	使用可能な合計（すべての仮想 CPU）に対する使用中のアクティブな CPU リソースの割合。

CRC エラーです	サンプリング期間中にポートで無効な Cyclic Redundancy Check (CRC ; 巡回冗長検査) が検出されたフレーム数
フレームレート	転送フレームレート (1 秒あたりのフレーム数) 。
フレームサイズ平均 (Rx 、 Tx)	フレームサイズに対するトラフィックの比率。この指標から、ファブリック内にフレームのオーバーヘッドがないかどうかを特定できます。
フレームサイズが長すぎます	ファイバチャネルの長すぎるデータ転送フレームの数。
フレームサイズが短すぎます	ファイバチャネルの短すぎるデータ転送フレームの数。
I/O 密度 (合計、読み取り、書き込み)	ボリューム、内部ボリューム、またはストレージ要素の使用済み容量 (データソースの最新のインベントリポーリングから取得) で IOPS を割った値。 1 秒間の TB あたりの I/O 処理数で測定されます。
IOPS (合計、読み取り、書き込み)	I/O チャネルまたはそのチャネルの一部を通過する読み取り / 書き込み I/O サービス要求の単位時間あたりの数 (1 秒あたりの I/O 数で測定)
IP スループット (合計、読み取り、書き込み)	合計 : IP データの転送および受信速度の合計。 1 秒あたりのメガバイト数で示されます。
読み取り : IP スループット (受信) :	IP データを受信した平均レート (1 秒あたりのメガバイト数) 。
書き込み : IP スループット (送信) :	IP データが 1 秒あたりのメガバイト数で送信された平均レート。
レイテンシ (合計、読み取り、書き込み)	Latency (R&W) : 一定の時間内にデータが仮想マシンに対して読み取りまたは書き込みされるレート。 1 秒あたりのメガバイト数で測定されます。
レイテンシ :	データストア内の仮想マシンからの平均応答時間。
上位のレイテンシ :	データストア内の仮想マシンからの最大応答時間。
リンク障害です	サンプリング期間中にポートで検出されたリンク障害の数。
リンクリセット Rx 、 Tx	サンプリング期間中に受信または送信されたリセットリンクの数。 この指標は、このポートに対して接続されたポートから発行されたリンクリセットの数を表します。
メモリ使用率 (合計)	ホストで使用されるメモリのしきい値。

部分的 R/W (合計) %	RAID 5、RAID 1/0、または RAID 0 の LUN において、読み取り / 書き込み処理がディスクモジュールのストライプ境界を越えた合計回数。通常、ストライプを越えると、各 LUN で追加の I/O が必要になるため、ストライプを越えることは効果がありません。割合が低い場合は、ストライプエレメントのサイズが効率的であり、ボリューム（または NetApp LUN）のアライメントが適切でないことを示します。CLARiX については、ストライプを越えた回数を IOPS の合計で割った値が示されます。
ポートエラーです	サンプリング期間中または一定の期間に検出されたポートエラーのレポート。
信号損失回数	信号損失エラーの数。信号損失エラーが発生した場合は、電気的接続がなく、物理的な問題があります。
スワップレート (合計レート、インレート、アウトレート)	サンプリング期間中にディスクとアクティブメモリの間にスワッピン速度、スワップアウト速度、またはその両方が発生した速度。これは環境仮想マシンのカウンタです。
同期損失の数	同期損失エラーの数。同期損失エラーが発生した場合、ハードウェアはトラフィックを認識できないか、ロックオンされません。すべての機器のデータ速度が同じでないか、光接続または物理接続の品質が低下している可能性があります。このエラーが発生するたびにポートの再同期が必要になるため、システムのパフォーマンスに影響します。単位は KB/秒です。
スループット (合計、読み取り、書き込み)	I/O サービス要求への応答として一定の時間内に送受信されたデータのレート（1秒あたりの MB で測定）。
タイムアウト廃棄フレーム数 - Tx	送信フレームがタイムアウトで破棄された回数。
トラフィック速度 (合計、読み取り、書き込み)	サンプリング期間中に送受信されたトラフィックの量（1秒あたりのメビバイト数）。
トラフィック利用率 (合計、読み取り、書き込み)	サンプリング期間中の送受信トラフィックの比率、受信 / 送信 / 合計容量に対するトラフィックの比率。
利用率 (合計、読み取り、書き込み)	送信 (Tx) と受信 (Rx) に使用できる帯域幅の割合。
書き込み保留 (合計)	保留中の書き込み I/O サービス要求の数。

コンテキスト内のオブジェクトのフィルタリング

アセットのランディングページで ウィジェットを設定するときに、`_incontext_filters` を設定すると、現在のアセットに直接関連するオブジェクトのみを表示できます。デフォルトでは、ウィジェットを追加すると、テナントで選択したタイプの `_all_objects` が表示されます。コンテキスト内フィルタを使用すると、現在のアセットに関連するデータのみを表示できます。

ほとんどのアセットランディングページでは、現在のアセットに関連するオブジェクトをフィルタできます。

フィルタのドロップダウンでは、リンクアイコンが表示されるオブジェクトタイプを現在のアセットに合わせてフィルタリングできます。

たとえば、ストレージアセットページで棒グラフウィジェットを追加すると、そのストレージの内部ボリュームのみの上位 IOPS を表示できます。デフォルトでは、ウィジェットを追加すると、テナントの_all_internal ボリュームが表示されます。

現在のストレージアセット上の内部ボリュームのみを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. 任意の *ストレージ* アセットのアセットページを開きます。
2. 編集 *をクリックして、アセットページを編集モードで開きます。
3. [ウィジェットを追加 (Add Widget)] をクリックし、[バーチャート _ (Bar Chart)] を
4. 棒グラフに表示するオブジェクトタイプとして「 * 内部ボリューム * 」を選択します。内部ボリュームのオブジェクトタイプの横にリンクアイコンが表示されていることを確認します。「リンク済み」アイコンはデフォルトで有効になっています。



5. [IOPS] - [Total] を選択して、追加のフィルタを設定します。
6. 横にある [X] をクリックして、[Roll Up] フィールドを折りたたみます。[* Show *] フィールドが表示されます。
7. トップ 10 を表示することを選択します。
8. ウィジェットを保存します。

棒グラフには、現在のストレージアセットにある内部ボリュームのみが表示されます。

すべてのストレージオブジェクトのアセットページにウィジェットが表示されます。ウィジェットでコンテキスト内リンクが有効になっている場合は、現在表示されているストレージアセットに関連する内部ボリュームのデータが棒グラフに表示されます。

オブジェクトデータのリンクを解除するには、ウィジェットを編集し、オブジェクトタイプの横にあるリンクアイコンをクリックします。リンクが無効になり、テナントの_all_objectsのデータがグラフに表示されます。

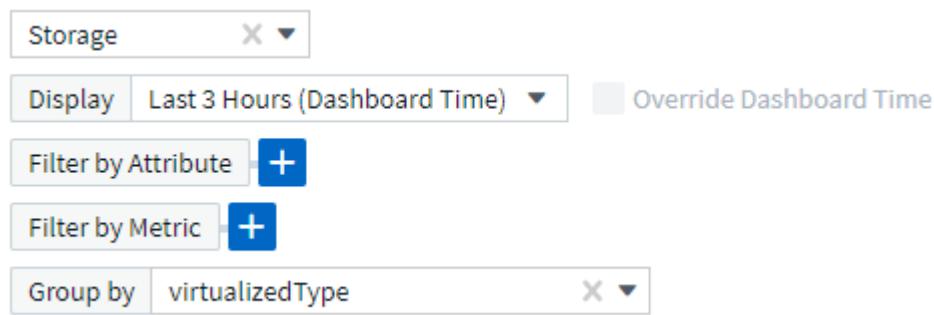
を使用して、ランディングページにアセット関連の情報を表示することもできます^{** ウィジェットの特殊な変数 **}。

ストレージ仮想化

Data Infrastructure Insightsでは、ローカルストレージがあるストレージアレイと、他のストレージアレイが仮想化されているストレージアレイを区別できます。これにより、コストを関連付け、フロントエンドからインフラのバックエンドまで、パフォーマンスを区別することができます。

テーブルウィジェットでの仮想化

ストレージ仮想化を確認する最も簡単な方法の1つは、[Virtualized]タイプを示すダッシュボード表ウィジェットを作成することです。ウィジェットのクエリを作成するときは、グループ化またはフィルタに「virtualizedType」を追加するだけです。



表示された表ウィジェットには、テナントの_Standard_、Backend、および_Virtual_ストレージが表示されます。

Storage by virtualizedType

50 items found in 4 groups

virtualizedType ↑	Storage
Backend (5)	--
Backend	Sym-Perf
Backend	Sym-000050074300343
Backend	CX600_26_CK00351029326
Backend	VNX8000_46_CK00351029346
Backend	Sym-000050074300324
Standard (36)	--
Virtual (8)	--

ランディング・ページには仮想化された情報が表示される

ストレージ、ボリューム、内部ボリューム、ディスクのランディングページでは、関連する仮想化情報を確認できます。たとえば、以下のストレージランディングページを見ると、これが仮想ストレージであり、どのバックエンドストレージシステムが適用されているかがわかります。ランディングページの関連テーブルにも、必要に応じて仮想化情報が表示されます。

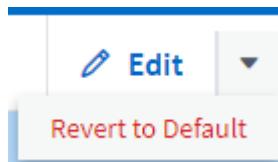
Storage Summary

Model: V-Series	Virtualized Type: Virtual	IOPS - Total: N/A
Vendor: NetApp	Backend Storage: Sym-000050074300343	Throughput - Total: N/A
Family: V-Series	Microcode Version: 8.0.2 7-Mode	Management: FC Fabrics Connected: 7
Serial Number: 1306894	Raw Capacity: 0.0 GiB	Alert Monitors: 0
IP: 192.168.7.41	Latency - Total: N/A	

既存のランディングページとダッシュボード

現在テナントでカスタマイズされたランディングページまたはダッシュボードを使用している場合、デフォルトではすべての仮想化情報が自動的に表示されないことに注意してください。ただし、任意のカスタマイズされたダッシュボードまたはランディングページ（カスタマイズを再実装する必要があります）に戻すことも、必要な仮想化の属性や指標を含めるように関連するウィジェットを変更することもできます。

カスタムダッシュボードまたはランディングページ画面の右上隅にある_revert to default_を使用できます。



ボタン"]

資産とアラートを検索するためのヒントとヒント

監視対象環境内のデータやオブジェクトを検索する場合は、複数の検索手法を使用できます。

- * ワイルドカード検索 *

文字を使用して、複数文字のワイルドカード検索を実行できます。たとえば、 *applic * n* は *application* を返します。

- * フレーズ検索 *

フレーズは、「*VNX LUN 5*」などの二重引用符で囲まれた単語のグループです。二重引用符を使用して、名前または属性にスペースを含むドキュメントを検索できます。

- * 論理演算子 *

論理演算子 OR 、 AND 、 NOT を使用すると、複数のキーワードを組み合わせて複雑なクエリを作成できます。

または

OR 演算子は、デフォルトの結合演算子です。

2 つのキーワードの間にブール演算子がない場合は、 OR 演算子が使用されます。

OR 演算子は、 2 つのキーワードをリンクし、どちらかの条件がドキュメントに存在する場合に一致するドキュメントを検索します。

たとえば、 *storage* や *NetApp_searches* と指定すると、 *_storage_or_NetApp._* を含むドキュメントが検索されます。

一致するキーワードの数が多いドキュメントほどスコアが高くなります。

および

AND 演算子を使用すると、両方の検索語が 1 つのドキュメント内に存在するドキュメントを検索できます。たとえば、 *storage* と *NetApp_searches* は、 *_storage* と *NetApp* の両方を含むドキュメントを検索します。

との代わりに、記号 * & * を使用できます。

ありません

NOT 演算子を使用すると、 NOT の後のキーワードを含むすべてのドキュメントが検索結果から除外されます。たとえば、 *storage NOT NetApp_searches* を指定すると、 *_storage* のみを含み、かつ *NetApp*

でないドキュメントが検索されます。

NOT という単語の代わりに、記号 * ! * を使用できます。

検索では大文字と小文字は区別されません。

インデックスキーワードを使用して検索します

インデックスキーワードの数が多い検索では、スコアが高くなります。

検索文字列は、スペースで複数の検索キーワードに分けて表示されます。たとえば、「storage aurora netapp」という検索文字列は、「storage」、「aurora」、「netapp」の3つのキーワードに分けられ、3つのキーワードをすべて使用して検索が実行されます。これらのキーワードのほとんどに一致するドキュメントのスコアが最も高くなります。入力する情報が多いほど、検索結果の方が適しています。たとえば、ストレージを名前やモデルで検索できます。

検索結果は、カテゴリごとに上位3件まで表示されます。想定しているオブジェクトが見つからない場合は、検索文字列にキーワードを追加して検索結果を絞り込むことができます。

次の表に、検索文字列に追加できるインデックスキーワードのリストを示します。

カテゴリ	インデックスキーワード
ストレージ	「storage」ネームベンダー モデル
ストレージプール	「storagepool」関連するすべてのディスクのすべての内部ボリューム名に対するストレージベンダーストレージモデル名のストレージシリアル番号のストレージIPアドレスの名前
内部ボリューム	ストレージベンダーのストレージモデル名ストレージプールに関連付けられているすべての共有名のストレージシリアル番号の「internalvolume」名ストレージのIPアドレスの名前。ストレージプールに関連付けられているすべてのアプリケーションの共有名
ボリューム	「volume」という名前は、ストレージベンダーのストレージモデルのストレージシリアル番号のストレージプール名のすべての内部ボリュームの名前です
ストレージノード	ストレージベンダーのストレージモデルのストレージシリアル番号のストレージIPアドレスの「ストレージノード」の名前
ホスト	「host」という名前のIPアドレスは、関連付けられているすべてのアプリケーションの名前です
データストア	「datastore」は、すべての内部ボリュームのすべてのボリューム名の仮想センターIP名です
仮想マシン	「virtualmachine」名「dns name」IPアドレス関連付けられているすべてのアプリケーションのすべてのデータストア名のホストIPアドレスの名前
スイッチ（標準とNPV）	スイッチのIPアドレスWWN名シリアル番号モデルファブリックのWWNのドメインID名

カテゴリ	インデックスキーワード
アプリケーション	「application」 という名前ビジネスユニットプロジェクトのテナントの名前
テープ	「tape」 IP アドレス名のシリアル番号ベンダー
ポート	「port」 WWN 名
ファブリック	「fabric」 WWN 名
Storage Virtual Machine (SVM)	「storagevirtualmachine」 という名前の UUID

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。